

ベトナム現地情報（2021.05.19）

ジャパン証券 北山亨

第4回「ベトナムの選挙事情」

ベトナムでは今週末に5年に1度のビックイベントが開催されようとしている。4年に1度であればオリンピック、ワールドカップなどが思いつくが、5年に一度とは何であろうか。

総選挙である。

ベトナムでは5年に一度総選挙が行われており、今年は5月23日（日¹）に第15期の国会議員と地方行政単位の人民評議会議員を選出する総選挙が開催される。さらに今年は最初の国会が開かれてから75年の節目の年となっている。

総選挙が実施される前に国のトップである国家主席や首相は国会で選出される。なので形としては国民は総選挙を通じてこのトップの選出に対して間接的に可否の意思表示を示すこととなる。これは他の共産圏の国とは異なる。



ロッテセンター ハノイ

¹選挙法では、投票日は日曜日と定められている。女性候補者は候補者全体の最低35%、少数民族候補者は最低18%を占めるよう、細かく規定されている。選挙権は満18歳以上、被選挙権は満21歳以上となっている。

ベトナムでは 1946 年に最初の総選挙が行われた。当時全国の有権者の約 89%が投票を行い、333 名の国会議員が誕生した。今回の選挙では国会の全議席数 500 に対して 868 名の候補者が立候補した。ちなみに日本の国会の議席数は衆参合わせて 713 議席となっており、ベトナムよりも議席数は多い。

女性候補者 45.3%

候補者の年齢層も富んでおり、24 歳から 77 歳までの老若男女が立候補している。また男女別の内訳では男性が 475 名、女性が 393 名となっている。ここで注目すべきは女性候補者の比率で 45.3%と日本の 16.2% (1/4 日経調べ。次期衆議院選挙の立候補予定者。小選挙区と比例代表をあわせた 829 人のうち女性は 134 人) に比べて、かなり高い。

投票当日は有権者カードを持って投票所に向かう。投票時間は朝 7 時から夜 7 時までとなっており、場所によっては朝 5 時から夜 9 時まで投票所は空いているところもある。ちなみに投票用紙は色とりどりで、国会議員選挙がピンク色、人民評議会議員選挙では省・中央直轄市が青色、郡・県・市が黄色、区・町・村が白色の用紙を使用している。



有権者カード



集合住宅のエントランスに
掲示される候補者リスト

カラフルな選挙ポスター

日本では選挙期間中は街頭やテレビで選挙活動を目撃することが多い。しかしベトナムではその光景はあまり見られない。というのもベトナムでは憲法で認められた政党は共産党だけからだ。

選挙活動は行われていないものの、街中にはカラフルな選挙のポスターが所狭しと掲げられており、国を挙げての一大行事であることは明白である。

政党は共産党のみだが、実際には国会議員の中には非党員も存在する。今回の選挙では74名の非共産党員²が立候補した。さらに人口の約90%をキン族が占めるベトナムだが、多くの少数民族を抱える多民族国家であるため、今回の選挙には185名の少数民族出身の候補者も名を連ねている。

また選挙を円滑に実施するため、ハノイ市では学校の夏休みを前倒しにし、市中感染が発生したダナン市への旅行者の追跡、さらに不要不急の外出を禁止するなどコロナの封じ込めに余念がない。コロナ禍であっても力強い成長を遂げるベトナムであるが、その根底には一党であるがゆえの政治の安定があると考えられる。5年に一度の大きな総選挙が控える中、今一度ベトナムに注目してみるのもいいかもしれない。



ディスクレーマー

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者またはジャパン証券と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

²ベトナム祖国戦線と呼ばれる選挙組織によって審査される。